



栗東市議会議員 田村たかみつ

# 市議会通信

NO.24  
2009/1/3  
Since 2003.3

発行/田村たかみつ後援会 栗東市御園 1028 全国競馬労働組合内 TEL/558-0490 FAX/558-2762 後援会会長 福村留治

## 新年あけまして

おめでとうございます  
皆様には健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

去年は、田村たかみつの議員活動に深いご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

恒例の、今年の世相を表す漢字が「変」と決まりました。

ガソリンの価格変動や物価の上昇、そしてアメリカのサブプライムローン問題やリーマンブラザーズ社の倒産を発端とした世界的金融恐慌など、経済の「変動」。

また、地球温暖化問題の深刻化など地球の「異変」。

一方、米国では”CHANGE”「変革」を掲げる民主党のバラク・オバマ氏が次期大統領として誕生。国内では、福田総理の突然の辞任後、コロコロと変わる政策や発言、そして金銭感覚が「変」な麻生総理が誕生しました。

一方、明るい話題でいえば、ゴルフの石川遼選手、テニスの錦織圭選手など平成生まれのスポーツ選手の活躍、また、物理学、化学の分野では、4人の日本人がノーベル賞を受賞するなど、様々な分野で時代の良い意味での「変化」が見られました。

しかし、年末になってからはトヨタ自動車を先頭に、自動車関係の全社が呼応するかのよう非正規労働者の大幅な解雇をはじめました。アメリカ発の金融危機とはいいいながらも本来日本が持つ雇用形態にも大きな影響が出たことに不安を覚えます。

まさに「大変」な時代へ突入するのでは・・・と。

私は、本来日本は過度な「競争」で高度発展を遂げてきたのではなく、企業と労働者、そして地域社会が「協奏」しながら産業を支えてきたのであり、現在のような過度な競争により企業も人も地域社会も疲弊しきっていると感じています。

夢も希望も自信も希薄となってきた閉そく感が漂ういまの日本。

一日も早く、明るい未来に向かって、「希望の国、日本」へ舵を取るのには、何といたっても政治しかありません。そしてその政治を変えるのは、私たちの1票でしか変えることはできません。

そのためにも、私も国民として、そして市民として、さらには議会議員の一人として今年もがんばる所存です。今年もよろしく願いいたします。



第54回百済文化祭（10月） 韓国の公州市内のメインストリート  
を騎馬隊 185頭で行進。ミニ日韓交流しました。左手前が私です。

栗東市議会議員 田村隆光

# 12月定例会

今定例会の議案は、人事1件、条例36件、予算9件、その他6件、の計52議案を審査しましたが、すべて原案通り可決となりました。

財政危機に直面する当市は、市財政の危機を乗り越えるために、平成20年度から平成22年度までの3年間の収支均衡をはかる目的で「財政再構築プログラム(以下、財プロ)」を策定・実行し、収支均衡を図りながら概ね向こう10年間で市債残高の100億円以上の縮減、財政調整基金15億円以上の確保、そして将来負担比率200%以下を目指す財政の健全化政策を決定しました。

とりわけ、平成20年度～平成22年度では、約48億円にものぼる財政不足が生じることから、市単独事業や受益者負担等をゼロベースで見直すこととし、市税の滞納整理の推進、遊休財産の処分、保育料の見直し、下水道料金の見直し、ごみ処理料の有料化などによる収入確保と、人件費の削減や市独自で実施している施策(事業)の見直し、市施設の統廃合、各種団体補助金の見直し、そして中学校給食の見直しなどによる歳出削減で、収支の均衡を図ろうとしています。

その実践にあたって、関係する条例を改正する必要があることから、今議会で財プロ実施に伴う関係条例の改正(29議案)を主に審査しました。主なものを下記に報告します。

## POINT

### 財政再構築プログラムに伴う関係条例の改正

#### ■諸証明発行手数料の見直し

住民票・税証明など受益者の割合、コストと受益者負担のバランスを図るために、証明手数料を300円から350円へ見直すもの。

見直しによる影響額は、H21～H22で900万円の増収となる見込み。

**<賛否>** 財政状況と受益者負担および他市の実態等を総合的に判断し、[賛成]の立場を取りました。

#### ■自治会長及び農業組合長の報酬の見直し

自治会長および農業組合長の職務と報酬を近隣市と比較して減額見直しするもの。

見直しによる影響額は、H21～H22で自治会長報酬38,326千円、農業組合長報酬5,152千円の削減となる見込み。

#### <自治会長>

\*均等割(年額) 93,840円 → 60,000円

\*世帯割(1世帯) …1,512円/年 → 840円/年

#### <農業組合長>

\*均等割(年額) ……60,000円 → 32,000円

\*世帯割(1世帯) …1,059円/年 → 620円/年

\*面積割(1アール) …22円/年 → 12円/年

**<賛否>** 財政状況および他市の実態等を総合的に判断し、[賛成]の立場を取りました。

#### ■栗東市市長、副市長及び教育長の給与の見直し

財政確保の観点から、これまで市長、副市長及び教育長の給与月額を5%減額しているが、今回の財プロの関係でさらにH21年4月1日～H23年3月31日まで5%を加算し削減するというもの。

また、栗東市職員の収賄詐欺事件における責任として、市長の給与をH21年1月から3ヶ月間10%、副市長の給与を同様に2ヶ月間10%それぞれカットするというもの。

これらの影響額として、153.2万円の歳出削減となる。

**<賛否>** 財政状況と市長の責任等を総合的に判断し、[賛成]の立場を取りました。

#### ■中学校給食の見直し(廃止)

中学校においては給食の残さの多さや、偏食、ダイエット志向、体格などの問題と、財プロのとの関連から、これまで週3回の給食制度を廃止し、スクールランチ(業者弁当: 料金は給食並み)に切り替えるというもの。

廃止による影響額としては、単年度で約3,200万円の歳出削減となる。

**<賛否>** この議案については、保護者の方から継続を求める声も多くありました。

しかし、残さの問題や食育の問題、当然財プロとの関連などを検討した結果、当会派としては、給食の廃止はやむなしだが、できる限り保護者の負担増とならないことを前提とし、当局が勧める「スクールランチ制度」については、①週3回の対応ではなく、週5日間(全日)の対応とすること、②業者の選

定にあたっては栄養士等の確保や食育環境をしっかりと整えること、③食育、体型、嗜好の観点から弁当の選択肢を増やすこと、④実施にあたっては保護者参画のもと、「スクールランチ事業運営委員会」を設置し、実施要綱を協議しながら策定し、理解を得ながら進めること等を条件として提示し、当局としても積極的にその対応を図るとの確約を得たことから、[賛成]という立場をとりました。

### ■公設の施設の使用料金の見直し(13議案)

中央公民館をはじめ市内のコミセンやアグリノの里など公の13の施設の使用料の見直しと減免規定を見直すもので、特に冷暖房費については、使用料に5割を加算した額とするもの。また、市外居住者および民間事業者が利用の場合は、使用料に10割を加算した額とするもの。さらに調理師等の使用料も1時間あたりの単価(約300円)を定め加算するもの。

**<賛否>**財政状況と受益者負担および他市の実態等を総合的に判断し、[賛成]の立場を取りました。

### ■敬老祝い金の見直し

財政の問題から、現在、敬老祝金として70歳に支給している3千円(商品券)および77歳の者に支給している祝金(7千円)を廃止。そして、88歳に支給している祝金(1万円)を5千円と改定するもの。この影響額は、現

行より約390万円の歳出削減となる。

**<賛否>**この制度の変更について、財政難の観点からは理解できるが、高齢者から視線を外すことなくしっかりと配慮していくことを条件に[賛成]の立場を取りました。

### ■栗東市職員の給与の特例に関する条例改正

財プロの一環として、市の職員の給与を平成21年4月1日から平成23年3月31日まで、職務の等級に応じて3%~5%削減するもの。

影響額は、8,560万円であり、財プロの目指す1億6千万円の削減は、退職補充減による人員削減や新旧の入れ替えで達成していくというもの。

**<賛否>**財政状況と職員組合の交渉結果を尊重し、[賛成]の立場を取りました。

以上、他にも多くの議案がありましたが、紙面の関係上、割愛させていただきますが、当会派としては、財政危機の現状の中、多くの市民の方のご負担増になることは理解していただかなければなりません。行政も「単に財政難だから、削減や廃止・縮小とするのではなく、サービスが低下する分、代替策やオプションをしっかりと提示し、選択肢を増やすことは行政責任として重要である」と主張しています。

## 10月以降の主な活動

日付	曜	行 事
10/2	木	金勝第2保育園運動会
10/4	土	金勝第1幼児園運動会
10/5	日	御園自治会運動会
10/7	火	桑名市産廃処分場視察
10/8	水	議会広報編集特別委員会
10/9	木	連合滋賀議員団会議
10/14	火	全員協議会
10/15	水	岐阜市産廃処分場視察
10/16	木	議会広報編集特別委員会
10/19	日	スポレク滋賀栗東大会開会式
10/26	日	金勝ふれあい広場
10/31	金	国・県・市政報告会
11/15	土	金勝まつり

日付	曜	行 事
11/17	月	総務常任委員会協議会
11/19	水	総務常任委員会行政視察
11/20	木	総務常任委員会行政視察
11/21	金	全員協議会
11/25	火	議会運営委員会
11/27	木	会派勉強会
12/2	火	総合計画特別委員会
12/3	水	12月定例会開会(～12/22)
12/6	土	栗東子ヨ一元気玉クラブ理事会
12/20	土	草津栗東地区連ユニオンセミナー
12/21	日	第3区年末街宣
12/25	木	連合議員団ネットワーク会議



# 個人質問

## テーマ

市長の決断がRD産廃処分場の最善の解決へのカギ

**質問** RD処分場の対策工を巡って周辺7自治会の多くが不同意の意向を示している状況の中、県は最終的には市に同意を求めていくとしている。最善の解決に向けての市長の決意を伺う。

**答弁** 周辺7自治会のうち1自治会は同意しているが他の4自治会からは不同意の意向が示されているので現段階ではまだ判断には至らない。市において今後、自治会長等との協議の状況を踏まえ議会とも協議した中で総合的に判断していく。

**質問** RD処分場の問題は、科学的見地に基いた解決が重要だと考えるが、財政問題など多くの課題を抱える本市においては「政治的決着になるのでは」との声もあるが、その可能性を市長に問う。

**答弁** 過去に一部のマスコミが記事にしたことがあるが、私は一切考えていない。

**質問** 県は、3回の周辺自治会への説明会で、最初は「D案」、2回目は「現位置浄化策」、3回目は「よりよい現位置浄化策」と対策工の内容を変えてきているが、そもそも「D案」と「現位置浄化策」は同じものなのか？有害物の除去に関しては、D案より後退したものとするか？

**答弁** 同じと考えている。

**質問** 県は、ある自治会と対策工同意を条件に覚書を交わそうとしている。県（行政）は、常に公平・公正・平等の立場をとるべきだと考えるが、栗東市はこの覚書のことは知っていたのか？

**答弁** 県市連絡協議会の場で知った。まだ、締結はしていないと聞く。

## テーマ

入札・随意契約の見直しにカギ

**質問** 今回の財政再構築プログラムを考えると、市民への福祉・教育のサービスの部門の廃止や縮小、人件費の削減などが実践目標の最前線に来ており、

さも、市民生活に関わる福祉・教育サービスが、歳出増の根源であるかのようなプログラムの内容となっている。しかし、第5次の大綱の中では、「公共工事の入札・契約の情報を公開し透明性を確保するとともに公共工事コストの縮減に努める」としているが、その進捗は。

**答弁** 市の発注する公共工事については、発注見通しの公表や入札予定価格の事前公表など透明性の確保に努めている。また、電子入札の検討も行っている。しかし、随意契約が本市の職員の不祥事につながったことは否定できないことから、再発防止の観点からも、水道事業所が行う入札についても契約審査室で行い透明化を図っていく。

また、公共工事コストの縮減については、設計段階でチェックしており職員の意識向上につながっている。

**質問** 土地開発公社に当市が貸し付けている47億円の償還の件で、最悪償還ができなかった場合、当市の将来負担比率や実質赤字比率など健全化判断比率に基づく状況はどうなるのか？

**答弁** 実質赤字比率が財政再建団体基準を上回り、本市が財政再建団体に陥ることが想定される。

しかし、そのような事態を招くことは、市民生活など様々な方面に影響がすることから、この危機を回避するよう市長を先頭に最大限の努力をしている。

**質問** 最悪の事態を回避するためにも新幹線新駅建設予定地だった区画整理跡地の土地利用の計画は、早急に策定し明確にすべきだと考えるが、現時点での進捗は？

**答弁** この件については、「新駅中止」へと政策転換をした県の責任において、新幹線新駅に値する代替プランについて、先に提案されるのが本来の姿であると主張してきた。

しかし、本市としては土地区画整理事業の施行者として後継プランの取り組みを進める中で県の明確な責任を果たしてもらおうと考えている。

現時点での進捗については、県と市が一緒になって後継プランの検討に取り組んでおり、栗東新都心地区まちづくり基本構想作成業務について、今年度中に各種調査を行い、来年の9月までのできるだけ早い時期に基本構想を取りまとめる予定であり、これをもとに後継プランの具体化に向けて取り組んでいく。



# で報告

9月定例会以降の主な活動を写真で報告いたします。  
ここに報告できなかった活動につきましては、私の「ブログ」にて報告していますので、そちらもご覧ください。

【ブログアドレス】<http://blog.livedoor.jp/tt22totoro/>

## ▼10月2日(木) 金勝第2保育園運動会



地元上砥山にある金勝第2保育園の運動会が秋晴れの中、開催されました。  
平日の開催ではありませんでしたが、多くの保護者の方や家族の方も園児の応援に駆けつけ大変な賑わいでした。

## ▼10月4日(土) 金勝第1幼児園運動会



金勝学区で一番大きい幼稚園+保育園である「金勝第1幼児園」の運動会が、秋晴れの中開催されました。  
5歳の園児たちが、聖火台に火(紙で作った炎)をともし、運動会ははじまりました。

## ▼10月7日(火) 三重・滋賀の産廃処分場視察

三重県桑名市における産廃処分場の行政代執行の事例の視察と、この10月末にオープンとなるクリーンセンター滋賀の管理型最終処分場の視察に行きました。



## ▼10月14日(火) 第54回百済文化祭

大韓民国の代表的歴史文化祭である「第54回百済文化祭」に参加してきました。  
百済(ペクチュ)文化祭は、大韓民国を代表する歴史文化祭としてアジア最大の祭りであり、世界の名品祭りとして発展を続けています。13年ぶりの騎乗です。



## ▼10月19日(日) スポレク滋賀栗東会場開会式



第21回全国スポレク祭が、今年は10/18~10/21の間、滋賀で開催され、栗東市ではラージボール卓球大会が開催されました。そのラージボール卓球大会の開会式に出席しました。

## ▼10月26日(日) 金勝ふれあい広場



恒例の金勝ふれあい広場が、雨模様の中、開催されました。  
当自治会は、今年は「綿菓子」の担当。祭りは、雨にもかかわらず多くの人でにぎわい、模擬店もほとんどが早期に売り切れ、バザーなども大盛況でした。

## ▼10月29日(水) RD産廃処分場問題 県説明会

RD産廃処分場の問題解決のための対策工をめぐり、3回目となる県の説明会が地元上砥山公民館において行われましたので参加しました。  
説明会は、相変わらず、県の「D案」の説得会。議論が噛み合うはずがありません。



## ▼10月31日(金) 国・県・市政報告会

国・県・市政報告会を栗東市中央公民館の小会議室で行い、約80名の方が参加して下さいました。  
国政の状況を三日月代議士が、身近な滋賀県の状況を九里県議が、そして栗東市政を私がそれぞれ報告しました。



## ▼11月13日(木) 三日月大造衆議院議員報告会



滋賀3区選出の三日月大造衆議院議員の国政報告会が開催されましたが、会場は立ち見が出るほど大盛況。  
その中で、三日月衆議院議員は「将来、総理大臣を担えるような議員としてこれからがんばって行く」との強い決意を披露。

## ▼11月15日(土) 金勝まつり



地元の金勝小学校の「収穫祭」ともいえる金小まつりが、同小学校で行われ、1年生から6年生までの発表会や、6年生によるゲームコーナーやお化け屋敷の運営など工夫を凝らした出し物に保護者の方も参加されるなど大盛況でした。

## ▼11月21日(金) 総務常任委員会行政視察

私の所属する総務常任委員会で、11月19日~20日、四国は丸亀市と高知市に行政視察に行きました。  
視察の内容は、丸亀市が「自治基本条例」、高知市が「職員倫理条例」と「ふるさと納税」についてでした。



## ▼12月26日(金) 連合滋賀議員団ネットワーク会議

守山市のホテルで、連合議員団会議のネットワーク会議が開催され、「滋賀県の中小企業と地方自治との関わり」という演題で滋賀県中小企業家同友会副代表理事ならびに政策委員長長の宮川卓也氏を講師として講義を受けました。



